

## こだま Q&amp;A



## Q14

喀痰細胞診報告書の「組織球（+）」とはどういうことですか。

## A14

喀痰細胞診で「組織球（+）」とは、肺深部から喀出された喀痰で、判定に適した検体の指標といえます。

肺胞組織球は肺胞内に存在し、その貪食能より肺胞内の異物を除去する働きをしています。検体として提出されたものが、鼻汁や唾液ではなく、喀痰であるかどうかは、この肺胞組織球の存在の有無で判定されます。

喀痰を喀出したつもりでも、標本中に組織球がみられなければ、検体は唾液や鼻汁と考えられ、喀痰細胞診を判定するには適した検体とはいえず、材料不適となります。（参考資料：スタンダード細胞診テキスト 第2版，医歯薬出版株式会社，2002）

## 【喀痰の喀出方法】

良好な喀痰を提出していただくためには、スタッフの方々による患者様への喀痰採取方法の指導が非常に重要となります。起床後、口腔内を清潔にし、大きな咳をして容器に直接痰をとるようご指導ください。乾かないよう蓋をしてご提出ください。

お問合せ：代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 082-247-7191(ダイヤルイン)



## ◇編集後記◇

「検査室発記事」が平成20（2008）年8月に始まって、ちょうど3年半が経ちました。各検査部門がタイムリーな話題やシリーズ物など、どんな記事が読者に喜ばれるのか頭を悩ませながら作成しています。今回担当した細胞診係はシリーズ物でお届けしております。

これまで数々の記事を発信してまいりましたが、「バックナンバーを届けてもらいたい」というリクエストもいくつもいただきました。また、ウェブページ版では、今なお高いアクセス件数で推移している記事もございます（「CT/MRI 検査術シリーズ」「MIC（最小発育阻止濃度）」「蛋白分画」etc.）。

当検査センターでは過去5年分の広報誌をストックしておりますので、ご用命の際は、最寄りの営業員あるいは当検査センターまでお気軽に申し付けくださいませ。

初岡 博（広報委員）

広報委員

曾我部 俊二 / 濱川 以行 / 熊川 良則 / 河本 圓 / 藤岡 裕子 / 初岡 博 / 中本 啓太

